

専門分野 老年看護学 授業計画

授業科目及び時間数	老年看護Ⅳ 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	田村万寿美	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>老年看護学実習Ⅰ期の準備として、老年期の特性を基盤とした生活機能の視点から看護の展開方法を学び、実習に臨めることをねらいとした単元である。</p> <p>多くの高齢者は、慢性疾患や障害を持ちながら暮らしており、これまでの問題解決思考型による看護展開だけでは対応が難しい。そこで、ストレングスモデルを用いて高齢者の強みを生かし、目標志向型思考の看護展開で高齢者が望む生活への援助を考えられることが到達目標である。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 授業ガイダンス 2. 高齢者を理解する	講義 グループワーク	
2回目	1. 高齢者を理解する	グループワーク	
3回目	1. 老年看護の考え 2. ストレングスモデル	講義	
4回目	1. 事例提示 2. 生活機能の視点について	講義 グループワーク・個人作業	
5回目	1. 生活機能視点について共有 2. 1号紙の整理	講義 グループワーク・個人作業	
6回目	1. 1号紙の整理の共有・見直し	グループワーク・個人作業	
7回目	1. 2号紙の作成	グループワーク・個人作業	
8回目	1. 2号紙の共有、見直し	グループワーク・個人作業	
9回目	1. 3号紙の作成	グループワーク・個人作業	
10回目	1. 3号紙の共有、見直し	グループワーク・個人作業	
11回目	1. 3号紙の共有、見直し 2. 優先順位	グループワーク・個人作業	
12回目	1. 4号紙の作成	グループワーク・個人作業	
13回目	1. 4号紙の作成	グループワーク・個人作業	
14回目	1. 4号紙の共有、見直し 2. まとめ	講義	
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 100%		
受講生に対するメッセージ	12月の老年看護学実習Ⅰ期に向けて、看護過程の展開を学ぶ授業になります。これまでの問題解決型思考だけではなく、『生活している人』に求められる援助とは何かを考えるために、普段から自分自身の感性を磨き、感じ・考えられるよう準備をしてください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 出版社：医学書院 生活機能からみた老年看護過程 出版社：医学書院		
参考書	なし		